

細胞競合について

語るときに 僕の語ること

僕は辛い食べ物が結構好きなのですが、食べると汗が異常に出てくるのであまり人前では食べないようにしています。ワサビやマスタードは全然平気なのですが、香辛料系に異常に弱いのです。そして、汗が出てくるのはなぜか頭の頂点のみです。どこにそんなに大量の水が隠れていたのかと驚くくらい、まるで湧水のように頭頂部からこんこんと汗が出てきます。なぜ頭頂部のみからなのかは謎ですが、髪の毛が薄い部分なので汗を拭きやすいというのがあります。以前に CoCo 壱番屋でカレーを食べたとき、食後に紙ナプキンで口を拭かずに頭頂部を拭いていて同席した人に大笑いされたことがあります。ギャグでやっているのではありません。スパイスカレー屋に行くと、食べる前から蒸発してきた香辛料で頭頂部がじんじん痛み始めますし、完食する頃には文字通りバケツの水を頭からかぶったような状態になるので、一緒にカウンター席で食べていたラボメンバーに「食べ終わったら隣に違う人がいたかと思

京都大学
生命科学研究科

井垣 達吏
Tatsushi Igaki

ました」と言われたこともあります。一方で、味では全く判別できないレベルのごく微量の香辛料が入っていてもきちんと頭頂部から汗が出てきますので、料理中の香辛料の有無をすぐに判別することができます。何かの役に立つとは思えませんが。



そんな体質をしていたら頭頂部がすぐにハゲてしまうんじゃないかと思われるかもしれませんが、僕もそう思っていました。家系的にもハゲからは逃れられないだろうと子供の頃から悟っていましたが、覚悟もできていました。30代後半になっていよいよ本当

にハゲそうになってきたので、満を持して一番効果があるといわれていた大正製薬のリアップを購入して頭頂部に塗ってみました。すると、しばらくして突然激しい動悸に襲われ、かなり焦りましたがやがておさまりました。添付文書を見てみると確かに副作用の項目に「動悸」とありましたが、因果関係がはっきりしません。そこで数日後にもう一度少し多めに塗ってみたところ、今度はもっと激しい、心臓が痛いくらいの動悸が始まり、持続時間も長くて恐くて横になることもできず、救急車を呼ぶべきか迷い始めた頃によくおさまりました。こんな死に方だけは嫌だと思い、以来二度と育毛剤を使うのはやめました。

あれから10年以上が経ちましたが、なぜか薄毛が進行しません。あともう一步というところで、なぜか踏みとどまっています。まるで長年育毛剤を使い続けている頭のような。そして、気づきました。リアップの有効成分は血管拡張作用のあるミノキシジルで、血流を促進することはわかっているものの発毛・育毛のメカニズムはまだよくわかっていないそうです。僕の頭頂部が香辛料に対して異常に高感度に発汗（血流促進）すること、またリアップによって異常に高感度に動悸（血流促進）を起こすことを考え合わせると、僕の頭頂部はミノキシジルの下流シグナルが恒常的に活性化しているに違いありません。つまり僕の

頭は、天然のリアップ頭だったわけです。まさかの最強の頭です。ミノキシジルの下流メカニズムはまだわかっていないので、これ以上ないモデル系にもなりそうです。このことに最近ふと気づいて、思わず感動しました。研究の中で得られる多くの断片的で一見無秩序な観察事実をたった一つの仮説で完全に説明できた時のような、心の底からの感動でした。